

Henry の式

帯電した球状コロイド粒子の電気泳動移動度と粒子のゼータ電位を結びつける近似式の一つで Henry が導いた。粒子周囲の電気二重層の厚さと粒子半径の比が任意の値の場合に適用され、Smoluchowski の式と Huckel の式をつなぐ式である。ただし、ゼータ電位の値が低い場合にのみよい近似で、電気二重層の変形効果である緩和効果(ゼータ電位が高くなると無視できなくなる)が考慮されていない。

(大島)